

第 28 回日本臨床寄生虫学会大会

趣意書

会 期 2017 年 6 月 24 日(土)

会 場 国立研究開発法人国立国際医療研究センター

大会長 狩野 繁之

(国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部 部長)

ご挨拶

日本臨床寄生虫学会は、基礎医学系の寄生虫学者と寄生虫および寄生虫病に興味を抱く臨床医家の有志が集まり、“寄生虫感染の基礎と臨床の接点を探る”ことを目的として、1990年2月に『臨床寄生虫研究会』として発足し、1997年の第7回大会から『日本臨床寄生虫学会』として発展的に名称を変更し、この度、第28回大会が開催させていただくこととなりました。

本学会は寄生虫疾患の臨床に特化した学会で、寄生虫疾患をあらゆる側面から深く掘り下げて、多くの先生方にご発表・ご討論を戴く事を主眼においた学会です。日本国内のごく一部には寄生虫疾患は“過去の病気”という認識がないとは申しませんが、グローバル化が進む現在、寄生虫疾患の世界的拡散に特に注意を払う必要があります。特にわが国は、2020年には東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、それまでにインバウンドの旅行者が3,000万人に達する見込みもあります。

この年次大会はその意味でも「臨床寄生虫学の全盛期を迎える予感」(Expecting the heyday of Clinical Parasitology)とテーマを掲げ、いまこそわが国での寄生虫疾患の症例報告・検討を中心とする本学会の重要性を示して行きたいと考えております。

是非、皆様からのご支援を頂けますと幸いです。

第28回日本臨床寄生虫学会大会 大会長 狩野 繁之

【開催概要】

- 名 称： 第 28 回日本臨床寄生虫学会大会
- 主 催： 日本臨床寄生虫学会
- 大会長： 狩野 繁之 (国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部 部長)
- テーマ： 「臨床寄生虫学の全盛期を迎える予感」
(Expecting the heyday of Clinical Parasitology)
- 会 期： 2017 年 6 月 24 日 (土)
- 会 場： 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
- 開催計画の概要 (予定)：
- 基調講演、教育講演、ランチョンセミナー、一般口演、ポスター発表
- 本大会終了後 17:00~18:30 まで ICD 制度協議会主催の下記講習会を開催
- 「ICD 講習会 (予約制)」インバウンドの感染症対策-2020 年に備えて
- 大会 HP: <http://www.pco-prime.com/28clipara/>
- 参加予定数： 200 名程度
- 予 算： 250 万円程度

「第 28 回日本臨床寄生虫学会大会」事務局

国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所

熱帯医学・マラリア研究部内

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

事務局 大濱直美

Tel/Fax : 03-3202-7287 E-mail: ohama@ri.ncgm.go.jp

「第 28 回日本臨床寄生虫学会大会」運営事務局

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-13-10- 601

(株)プライムインターナショナル内 担当: 蓮池

Tel:03-6277-0117 Fax:03-6277-0118

E-mail:28clipara_secretariat@pco-prime.com